

学校だより



みなみたなか

平成26年4月7日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

新年度を迎えて

校長 梶谷 雅弘

本日より26年度がスタートしました。各学年2学級、みなみん学級(特別支援学級)4学級合わせて16学級。児童数341名でのスタートとなりました。

特別支援学級では、一人一人の児童の障害の状態や特性などに応じた教育を行っています。また、教科や特別活動などについて、通常の学級と密接な連携をはかり、障害のない児童との活動をともに推進しています。この交流により、各学年の児童にとっても、思いやりのある、温かな心を育む教育環境となり、より豊かな心を育成することが出来るものと確信しています。

今年度も、保護者や地域の皆様の期待に応えられるよう全教職員心を一つにして以下のような学校を目指して教育活動を進めて参ります。ご支援賜りますようお願い申し上げます。

1 目指す学校

- (1) 環境美化に努め、児童が安心して楽しく学ぶことができる学校
- (2) 基礎的・基本的な学力をしっかりと定着させ、自己学習力の育成を図る学校
- (3) 授業力の向上に努め、質の高い教師集団をめざす学校
- (4) 保護者・地域の人々に愛され共に歩む学校



2 平成26年度の達成目標と方策

- (1) 共感的な児童理解に基づいた生活指導体制を確立する。
 - ① 体罰根絶のための指導を全教職員が共有し、日々の指導に当たり、基本的な生活習慣を徹底的に身に付けさせるとともに、自他の生命を尊重する心や規範意識の育成に努める。
 - ② 食物アレルギー対応の研修会を定期的に行い、全教職員が対応できるようにし、事故防止に努める。
 - ③ 場に応じた言葉遣いや相手を尊重した言葉遣いができるようにするとともに「返事・あいさつ・あともしまつ・ありがとう」を徹底させ正しい人権感覚を身に付けさせる。
 - ④ いじめも含めた様々な問題の早期発見・早期解決と問題の予防・解決を図るため、毎週1回木曜日の夕会で生活指導関係の打ち合わせを行う。その会で、報告・連絡・相談・記録を徹底して行うとともに関係機関との行動連携を図る。
 - ⑤ 「みなみん学級」と各学級との交流学习を進め、一人一人の違いを認め合い尊重しあえる思いやりにあふれた心豊かな児童を育てる。
 - ⑥ 個人情報保護の規定について、全教職員が十分理解をし、日々の教育活動に当たる。
- (2) 基礎的・基本的な学力の定着を図り、自己学習力を育成する。
 - ① 各教科で実物投影機等のICTを活用したり、体験活動を取り入れたりして一人一人の児童に確かな学力を身に付けさせる。
 - ② 区立南田中図書館と連携し様々な支援を得ながら、並行読書を進んで取り入れる。また、最新資料や本を手元に置き学習ができるようにし、活字に親しむ学校づくりを推進し、児童の学習意欲向上・課題解決能力の育成に努め、読む力や自分の考えを発表する力を育てる。
さらに、読書月間等を活用して、学校図書館支援員や読み聞かせボランティアと連携し、児童の読書量を増やし読書の質を高めていく。
校内研究と小中一貫教育研究グループの研究を関連づけ、国語科に関しても中学校との関連を踏まえ、国語科での図書館の活用について引き続き研究をしていく。その中で、学年発達に応じた授業のあり方を追究し9年間を見通した授業改善に努め、言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力等の育成に努める。
 - ③ 幼・保・小・中の連携を進める。とりわけ南が丘中学校・南が丘小学校との小中一貫研究グループとして研究を進め、夢と希望をもって進学し、力を発揮できるよう児童の指導に当たる。
 - ⑥ 学校地域や関係機関の方々と連携し、学区域巡りや地域安全マップ作成やシューズバンクプロジェクト等の活動を推進する。
- (3) 授業力の向上に努め、質の高い教師集団をめざす。
 - ① 昨年度までの言語能力向上推進校として培った指導力を、今後も継続できるよう南田中図書館との連携を推進し活字に親しむ学校づくりに努める。
 - ② みなみん学級の児童や担任との日々の交流を通して、特別支援教育について児童や教員の理解を深め日々の指導に生かしていく。
 - ③ 全教員が1年に1回以上研究授業に挑戦し、謙虚に学び合う。
 - ④ 児童の学級・学年・学校への所属満足度を高めるために、全教職員で多面的・組織的にきめ細かな児童理解に努め、一人一人のよさを伸ばす。
 - ⑤ 事務職員・栄養士・給食調理員・用務主事の総力を結集して質の高い教師集団を支える。必要に応じて学校行事の支援を行う。
- (4) 学校関係者評価を実施し、学校改善に生かすとともに保護者・地域に結果を公表する。
 - ① 保護者・地域との双方向の交流を一層図り、家庭や地域とともに教育にあたるために、2月までに学校関係者評価を実施する。2月下旬に学校評価報告書を区教委へ提出するとともに、その結果を生かし27年度の学校経営計画を作成したり教育課程の編成をしたりする。また、その結果を保護者・地域に公表する。

